

発議案第 2 1 号

市立小中学校へのエアコン設置について早急な対応を求める決議について

上記の発議案を別紙のとおり会議規則第 1 4 条第 1 項の規定により提出します。

平成 3 0 年 9 月 6 日

八千代市議会議長 西 村 幸 吉 様

提出者	八千代市議会議員	木 下 映 実
	同	成 田 忠 志
	同	山 口 勇
	同	小 澤 宏 司

## 提案理由

執行部に対し、市立小中学校へのエアコンの設置を、現計画を前倒して進めるよう強く求める。

これが、本案を提出する理由である。

## 市立小中学校へのエアコン設置について早急な対応を求める決議

本市では、八千代市公立小中学校暑さ対策基本方針に基づき、国の学校施設環境改善交付金を活用しながら、防音のため窓を閉める音楽室等の特別教室、夏休み中も使用する職員室等の管理諸室へのエアコン設置が進められてきた。

また、普通教室については、近年の夏の猛暑により、児童・生徒への健康被害が懸念されていたため、本市議会としても平成29年第3回定例会において、早急に普通教室へのエアコンの設置に取り組むよう決議したところである。

そして、現在は市立小中学校の普通教室、特別教室及び管理諸室等へのエアコン設置に向け、PFI手法により整備することが決められ、平成32年7月までに全校へ整備することとしている。

しかしながら、今夏は、全国各地で最高気温の記録を更新するなど、気象庁が「災害級」の危険な暑さと表現したほどの暑さであり、扇風機の風による空気の循環だけでしのげる暑さではなかった。熱中症で児童が救急搬送されるケースなども起きていることから、早急なエアコン設置が求められる。

近隣市の状況として、千葉市は、平成32年までに小中学校全166校にエアコンを設置する方針を表明し、佐倉市も、来年夏にも小中学校全34校にPFI方式でエアコンを設置することを検討しており、県内各市においても確実に取り組みが進められている。

本市も、喫緊の課題であることを再度認識し、現計画を更に前倒しして、市立小中学校へのエアコンの設置を進めるよう強く求める。

以上、決議する。

平成30年9月26日

八千代市議会